



## 患者視点に立った薬物療法実践のために ～臨床現場に取り入れよう！基礎薬学と経済性～

薬剤師業務が対物から対人中心のシフトへと期待される中、薬剤師が患者視点に立ち、より最適な薬物療法を提供するための必携知識を習得します。特に臨床現場における薬剤師の専門性を発揮するための薬学基礎知識の使い方、最も有効で経済的な医薬品選択、これからの在宅医療、地域連携などを学びます。

- 開催日程** 2019年5月19日(日)、6月9日(日)、7月7日(日)  
10:00～16:00
- 開催場所** 京都薬科大学 躬行館 3階 T31講義室
- 定員** 360名 **受講料** 12,000円
- 認定単位** 計9単位 (3単位/日、1単位/演題) 京都薬科大学認定単位G24
- 申込受付** 2019年3月1日(金)～5月6日(月)
- 申込方法** ホームページよりお申込みください。  
<https://skc.kyoto-phu.ac.jp/>

開催日	10:00-11:30	12:30-14:00	14:15-15:45
2019年 5/19 (日)	認知症診療の現状と展望 札幌医科大学 医学部神経内科学講座 教授 下濱 俊 先生	アルツハイマー病に対する 新規治療法開発に向けた 基礎研究の動向 京都薬科大学統合薬科学系 教授 高田 和幸 先生	これからの在宅チーム医療 株式会社ゆうホールディングス 教育研修部 部長 小林 篤史 先生
2019年 6/9 (日)	地域連携による ポリファーマシー対策 宝塚市立病院 薬剤部 部長 吉岡 睦展 先生	脂質異常症治療の現状 康生会武田病院 循環器センター 部長 木下 法之 先生	病態と治療薬がみえる リポタンパク質代謝の異常 京都薬科大学 病態生化学分野 教授 秋葉 聡 先生
2019年 7/7 (日)	日常診療でみる 様々な精神疾患と治療薬 国澤こころのクリニック 院長 国澤 正寛 先生	薬剤費上昇抑制における 薬剤師の役割 慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授 中村 洋 先生	地域フォーミュラリーを 正しく理解するために 昭和大学 統括薬剤部部長 薬学部 教授 佐々木 忠徳 先生

※演題などプログラム内容は変更される場合があります。

